

和泉サナホーム便り

新年の挨拶



社会福祉法人 仁愛会
理事長 中村 稔

第32号
2023年1月吉日
(発行人)
杉並区和泉4-16-10
和泉サナホーム
施設長 上原 篤史

新年明けましておめでとうございます。入居者のご家族様、地域の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

2020年から始まった新型コロナウイルスによる感染が、いまだ治まっておりません。仁愛会では和泉サナホーム、和泉サナホーム、新泉サナホームを運営しております。今年の春先までは職員の頑張りもあり、クラスターが発生することもなく過ごせていました。しかしながら、オミクロン株に置き換わってからクラスターが発生してしまいました。入居者の皆様、家族の皆様には心配をお掛けしましたが無事に乗り切ることができました。まだまだ終焉は見えませんが、職員と協力し乗り越えていきたいと思いません。

福祉業界だけに限りませんが、日本経済全体で優秀な人材の確保が問題になっていきます。仁愛会では、働いてもらう職員の環境整備を見直し、職員の健康増進に力を入れて行きます。具体的には育児、介護休業の改善、退職年度の延長による職員の生活設計の充実を目指していきます。健康な職員による介護により入居者の皆様の生活を援助させていただきたいと考えています。安心して健やかに、その人らしい日常生活が送れるよう支援します。終わりに皆様方のご健康とご多幸をご祈願申し上げ挨拶とさせていただきます。

和泉サナホーム
施設長 上原 篤史

あけましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は当施設におきましても、新型コロナウイルスによる感染が拡大し、皆様にご心配とご迷惑をお掛けしました。ここに改めてお詫び申し上げます。また施設運営にご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。本年も引き続き、ご支援頂きますようお願い申し上げます。

「卯」は穏やかなうさぎの様子から安全、温和の意味があるそうです。本年は、ご利用者様に安全で穏やかに過ごしていただけるよう「ご利用者を大切にします」という理念のもと、職員一同努めて参ります。

最後になりますが、本年が皆様にとって良い年となることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

